



令和6年度 水稻生育診断情報 No.5

(令和6年8月23日)

(情報作成) 滋賀県農業技術振興センター

近江八幡市安土町大中 516 (TEL: 0748-46-4392)

(今年度最終情報です)

現在の生育状況

◎7~8月の気温は高く、日照時間はかなり多く推移しており、作況調査の「みずかがみ」「コシヒカリ」の登熟は早く進んでいる。

「みずかがみ」「コシヒカリ」の成熟期は、平年より早い見込み。

◎県内ほ場の5月上旬移植「みずかがみ」では、成熟期を迎えており、他の早生品種、中生品種ともに成熟期は平年より早まるとみられる。

管理のポイント

◎葉色に惑わされず、必ず穂(籾)色を手にとって確認し、籾黄化率85~90%の時期に収穫する！(刈り遅れによる品質低下に注意！)

◎根や葉の活力維持のため、収穫5日前まで湛水を保つ！

◎中生・晩生品種では今後も十分な水が必要なので、こまめな水管理を行う！

1 気象の経過と予報

(1) 気象の経過 (彦根気象台観測、平年は過去10年間の平均)

要素		最高気温	最低気温	日照時間	降水量
7月	下旬	高い	高い	多い	かなり少ない
8月	月上旬	やや高い	やや高い	かなり多い	かなり少ない
	中旬	高い	高い	かなり多い	かなり少ない

注) 気温 <±0.5℃: 平年並、±0.5~1.0℃: やや高い(低い)、±1.0~2.0℃: 高い(低い)、±2.0℃<: かなり高い(低い)
 日照時間 <±5hr: 平年並、±5~10hr: やや多い(少ない)、±10~15hr: 多い(少ない)、±15hr<: かなり多い(少ない)
 降水量 <±10mm: 平年並、±10~20mm: やや多い(少ない)、±20~30mm: 多い(少ない)、±30mm<: かなり多い(少ない)

(2) 近畿地方1か月予報(8/24~9/23までの天候見通し)【大阪管区気象台8月22日発表】

- 向こう1か月の天候は、北部では天気が数日の周期で変わり、南部では、平年と同様に晴れの日が多い。
- 気温は高く、2週目はかなり高くなる見込み(高い確率80%)
- 降水量は、北部では平年並か多く、南部では多い見込み。
- 日照時間はほぼ平年並の見込み。

2 生育状況

【農業技術振興センター 水稻作況調査による。表1、表2および後掲グラフ参照。】

- 出穂期は、「みずかがみ」が7月21日(平年より2日早い)、「コシヒカリ」が7月24日(平年より3日早い)、「きらみずき」が8月5日であった。
- 成熟期は、「みずかがみ」が8月23日(平年より2日早い)、「コシヒカリ」は平年よりやや早い見込み。

表1 令和6年(2024年)水稲作況調査 生育調査結果

滋賀県農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

基準日 月/日	品種名	草丈(cm)				茎数(本/m ²)				葉色(SPAD値)				主稈葉数(枚)			
		本年	平年	比	前年	本年	平年	比	前年	本年	平年	比	前年	本年	平年	較差	前年
7/10	みずかがみ	83.9	79.8	105	80.5	495	510	97	423	43.5	40.8	107	40.9	13.4	12.4	1.0	12.6
	コシヒカリ	80.2	80.5	100	81.5	534	555	96	484	36.8	37.5	98	35.8	12.2	11.8	0.4	12.0
	きらみずき	67.9	-	-	-	440	-	-	-	40.8	-	-	-	11.7	-	-	-
7/20	みずかがみ	-	-	-	-	-	-	-	-	40.1	38.2	105	38.0	14.0	13.2	0.8	13.4
	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	38.5	37.8	102	34.2	13.5	13.0	0.5	13.3
	きらみずき	75.1	-	-	-	426	-	-	-	39.3	-	-	-	12.9	-	-	-
7/30	みずかがみ	-	-	-	-	-	-	-	-	37.2	37.0	101	36.5	14.0	13.3	0.7	13.4
	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	37.6	38.4	98	36.3	13.3	13.3	0.0	13.6
	きらみずき	-	-	-	-	-	-	-	-	38.6	-	-	-	13.9	-	-	-

※移植日：5月10日(播種日：4月19日)。栽植密度：18.5株/m²、植付本数：3本/株

※「みずかがみ」「コシヒカリ」の平年は過去10年平均(平成26~令和5年)の値。

※「きらみずき」は令和6年から有機質肥料を用いて調査開始

8月20日現在の生育状況



「みずかがみ」
(出穂後30日)



「コシヒカリ」
(出穂後27日)



「きらみずき」
(出穂後15日)

表2 水稲作況調査 生育ステージ (8月23日時点)

滋賀県農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

品種：「みずかがみ」

生育期	本年	平年	較差	前年
幼穂形成期	6月29日	6月30日	1日早い	6月30日
出穂期	7月21日	7月23日	2日早い	7月23日
成熟期	8月23日	8月25日	2日早い	8月24日

品種：「コシヒカリ」

生育期	本年	平年	較差	前年
幼穂形成期	7月2日	7月3日	1日早い	7月5日
出穂期	7月24日	7月27日	3日早い	7月27日
成熟期	未	8月31日	-	8月28日

品種：「きらみずき」

生育期	本年	平年	較差	前年(参考値)
幼穂形成期	7月14日	—	—	7月14日
出穂期	8月5日	—	—	8月5日
成熟期	未	—	—	9月14日

※移植日：5月10日(播種日：4月19日)。栽植密度：18.5株/m²、植付本数：3本/株
 ※「みずかがみ」「コシヒカリ」の平年は過去10年平均(平成26～令和5年)の値。
 ※「きらみずき」は令和6年から有機質肥料を用いて調査開始

3 今後の管理

(1) 適正な水管理

- 登熟期に水が不足すると稲が十分に光合成できず、白未熟粒や胴割粒の発生、籾の充実不足が助長されるため、出穂前後各3週間は常時湛水管理を行う(図1)。
- 収穫の5日前まで湛水を保ち、収穫作業に支障がない限り出来るだけ湛水期間を長くし、根や葉の活力を収穫直前まで維持させる(図2)。
- 倒伏しているほ場では、成熟期に近づくと穂発芽が懸念されるので、速やかな排水に努め、刈り遅れないよう注意する。

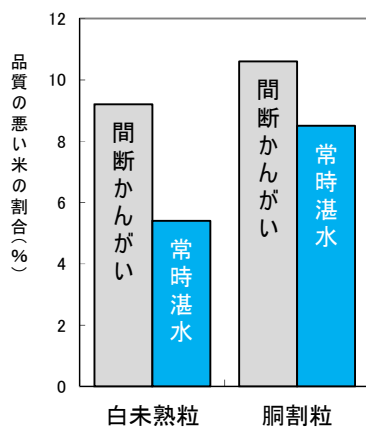


図1 出穂前後の水管理と白未熟粒、胴割粒との関係
(滋賀農技セ 2006年「コシカリ」)

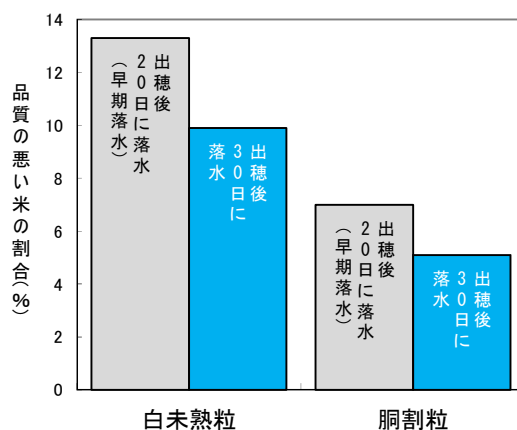
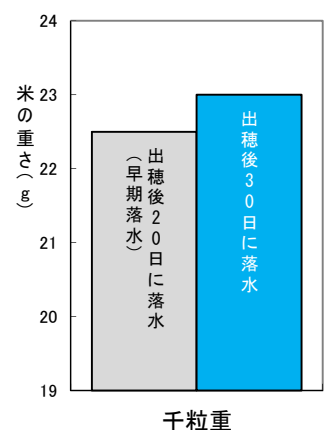


図2 落水時期と白未熟粒、胴割粒、千粒重(米の重さ)の関係
(滋賀農試湖北分場2004年「コシカリ」)



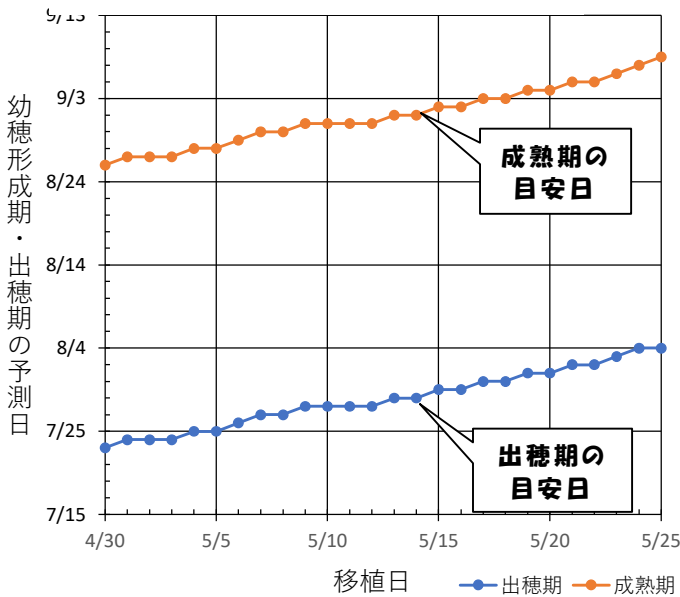
出穂前後の常時湛水で
白未熟粒、胴割粒が減ります

収穫直前まで入水すると、白未熟粒、
胴割粒が減り、収量も増加します

(2) 適期収穫

- ほ場内で出穂のばらつきが大きいところは、葉の色が黄化していなくても、籾は先熟している場合があるので、収穫時期が近づいたらほ場で穂（籾）色を手にとって確認して収穫適期を見極め、刈り遅れないよう注意する。
- 収穫適期は、穂の先端から3～4本目の枝梗につく籾が全て黄化した頃で、籾黄化率85～90%の時期である（目安は、籾黄化率50%程度で収穫7日前）。
- 出穂後の気温が高い年は登熟日数が短くなる傾向にあるので、早生品種（「コシヒカリ」等）だけでなく、中生品種（「秋の詩」等）でも、出穂後30日を過ぎたら収穫できるよう準備を整えておく。

【参考】「コシヒカリ」の出穂期
および成熟期の目安日

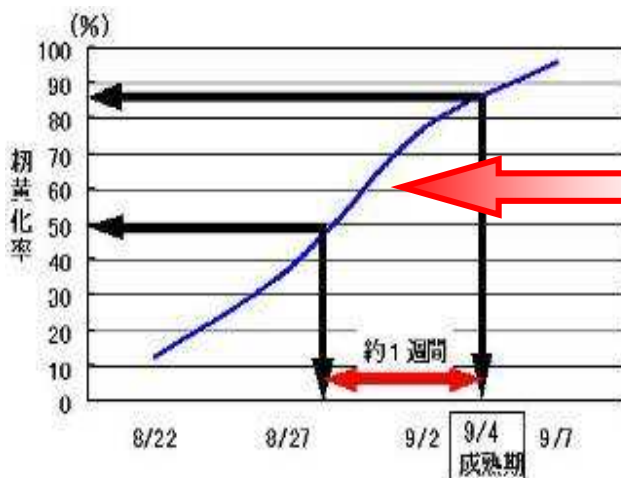


★登熟日数の目安

品種名	出穂期から成熟期までの日数
みずかがみ	平均33日 (32～37日)
コシヒカリ	平均35日 (32～39日)
きらみずき	平均38日 (33～43日)

※「みずかがみ」「コシヒカリ」の平年は、作況調査の過去10年（平成26～令和5年）の値。
※「きらみずき」は奨励品種決定調査の過去9年（平成27年～令和5年）の値

※農業技術振興センター（近江八幡市安土町大中）における「コシヒカリ」の稚苗移植の予測。
近江八幡市安土町大中より気温が高い地域はこれよりも早くなり、低い地域はこれよりも遅くなる



この期間は急速に籾の黄化が進むので、ほ場に入って穂を確認する。

図3 成熟期前の籾黄化率の推移（農業技術振興センター2008年「コシヒカリ」）
注）調査方法：黄化籾の標準見本色を基準に黄化籾と青籾を目視で計数。

【適期収穫のポイント】 ★葉色に惑わされず、ほ場で穂を手にとって確認する。

- 収穫適期の目安
- ①穂の先端から3～4本目の枝梗につく籾が全て黄化した頃
 - ②籾黄化率85～90%

★収穫7日前の目安：籾黄化率50%程度・・・収穫適期判定板を活用

適期収穫で胴割粒を減らそう!
収穫適期判定板

使い方

- ① ほ場全体を見て、平均的な場所に入ります。
- ② 穂に判定板(黄色)の色がついている部分をあてます。
- ③ 黄色く熟した籾(モミ)の割合を見て収穫時期を判断します。(判定板の色は熟した籾の色の目安です。)

※葉色にまわされずに、穂の柄色をみて判断してください。

—— 特に8月～9月の気温が高くなった場合は要注意 ——

※近年、出穂後(8月～9月)の気温が高く、黄熟日数が短くなってきています(下の表を参照)。
最も短い年は、「コシヒカリ」で30日、「日本晴」で32日、「秋の陣」で34日と短くなりました(平成22年)。

年次	品種名	コシヒカリ	日本晴	秋の陣
平成3年～12年		37日 (34～40日)	41日 (34～48日)	—
平成13年～22年 (最近10年間)		33日 (30～37日)	36日 (32～40日)	39日 (34～44日)

近江米振興協会

収穫7日前頃 (籾黄化率50%程度)

収穫適期 (籾黄化率85%)

収穫適期 (籾黄化率90%)

黄化率が高くなるにつれて、穂の柄色も黄化してきます。

黄化率が高くなるにつれて、穂の柄色も黄化してきます。

(3) 病虫害防除

8月6日発表の「病虫害発生予報第8号」参照

<http://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5486039.pdf>

または 県 HP 組織から探す>農政水産部>病虫害防除所>
病虫害発生予察情報>病虫害発生予報 を参照



中生、晩生品種対象の情報です

① トビイロウンカ

- 予察灯への飛来が認められておらず、移植時に長期持続型箱粒剤を育苗箱施用したほ場および7月下旬～8月上旬に浸透移行性のある粉剤・粒剤・液剤を散布したほ場では、坪枯れ症状が発生する可能性は低い。
- 株元に幼虫が多数認められる場合は、直ちに防除を行う。

(4) 台風対策

8月21日発表の「台風接近、大雨に備えての技術情報」参照

<http://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5487545.pdf>



① 台風通過前の対策

- 事前に排水路の詰まり等の点検・補修を行い、浸冠水時の速やかな排水に備える。
- 成熟期に近いものは台風襲来前に多少早目でも刈取りするのがよい。
- 風害による倒伏や葉先枯れ等を軽減するためには、やや深めに水を張るとよい。

② 台風通過後の対策

- 冠水した場合、葉先を水面に出すよう速やかな排水に努める。
- 冠水の著しいほ場においては、白葉枯病等の発生が懸念されることから、排水後、病害の発生動向に十分注意する。
- 冠水や浸水の被害を受けた稲体は水分調整、肥料吸収等の機能が低下していることから、田面の過度な乾燥に注意する。

～農業情報の配信について～



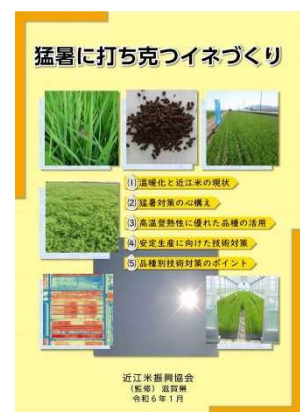
- 滋賀県では、「防災・防犯等の情報をはじめとする滋賀の安全・安心のための情報やイベントのご案内など」を、ご希望の方へ情報配信しています。
- 台風等の気象災害や病害虫の発生が懸念される際に農業技術情報や農業に関するイベントのご案内など農業者向けの情報も配信しています。農業に関するタイムリーな情報収集手段の一つとして、是非ご利用ください。
- 詳しいサービスの説明、ご利用上の注意及び利用規約は下記の滋賀県ホームページをご覧ください。

滋賀県ホームページ「しらせりしが（しらせり滋賀情報サービス）ご案内」
<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kurashi/ict/306374.html>



「猛暑に打ち克つイネづくり」について

- 令和6年5月21日大阪管区気象台発表の3か月予報では、近畿地方の平均気温は高い見込みです。
- 今後の水稲の生育、気象には十分に注意しながら、猛暑に打ち克つイネづくりをすすめてみましょう。



【参考】「猛暑に打ち克つイネづくり（令和6年1月近江米振興協会）」
<https://www.ohmimai.jp/images/news/pdf-seisan-inedukuri01.pdf>



【参考サイト】

農業技術振興センター
病害虫防除所
彦根地方気象台
早期天候情報

<http://www.pref.shiga.lg.jp/nougicenter/>

<http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/>

<http://www.jma-net.go.jp/hikone/>

<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/souten/>



農業技術振興センター



病害虫防除所

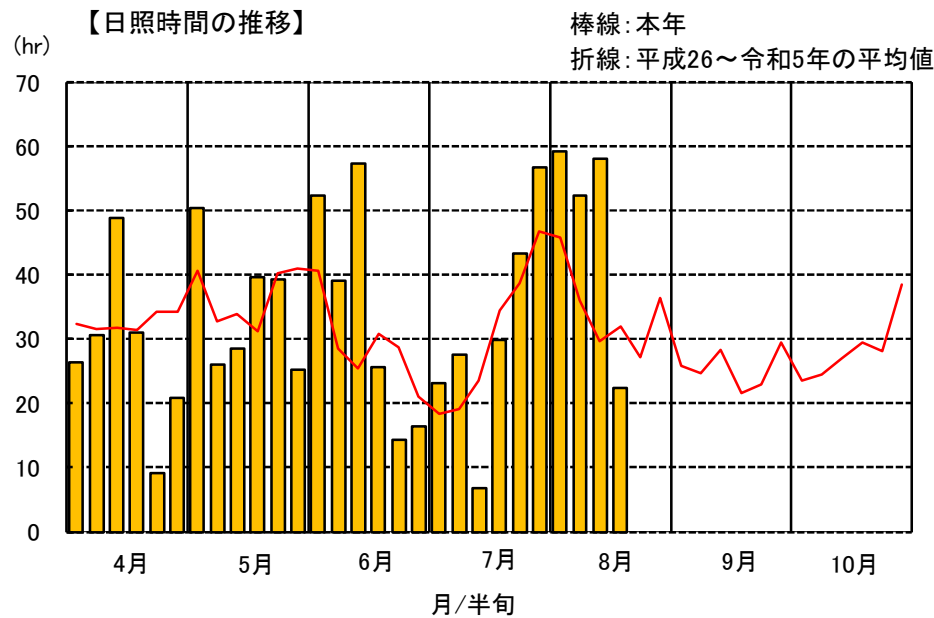
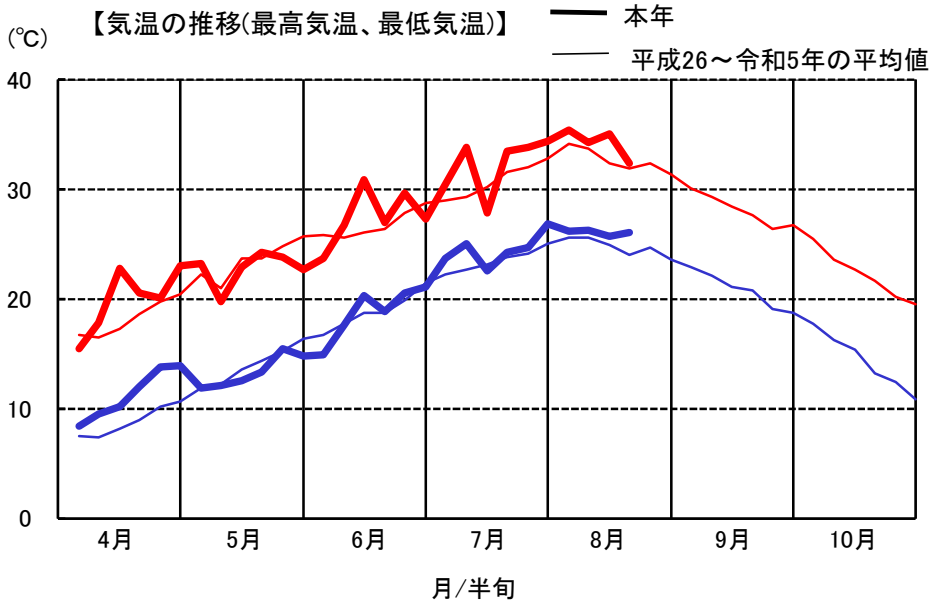


彦根地方気象台



早期天候情報

令和6年(2024年) 水稲作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)

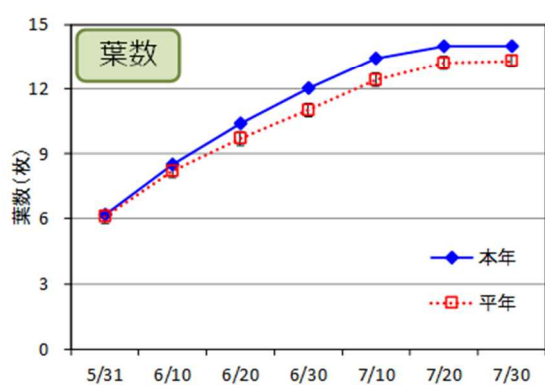
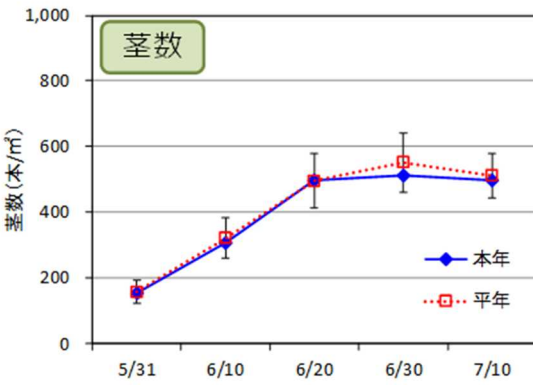
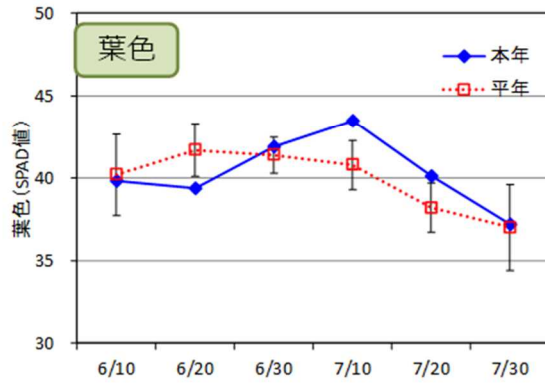
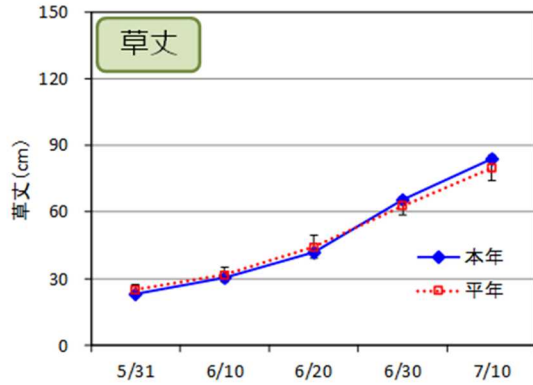


令和6年(2024年) 水稲作況調査 生育調査結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

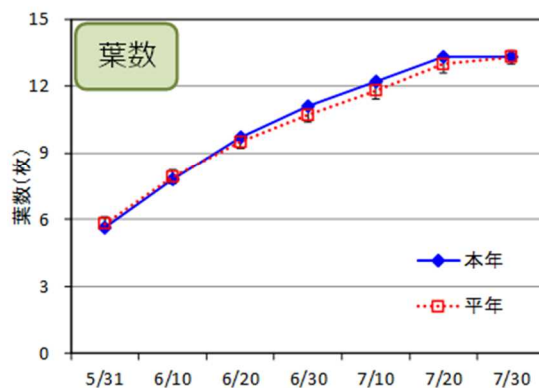
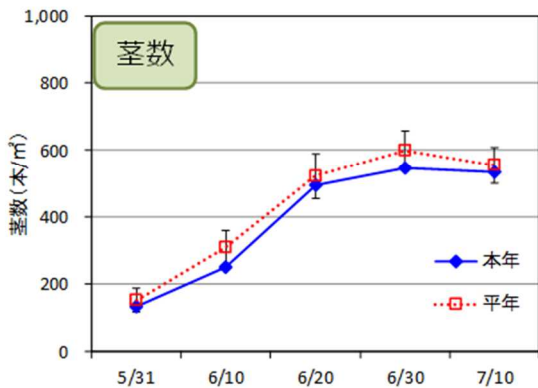
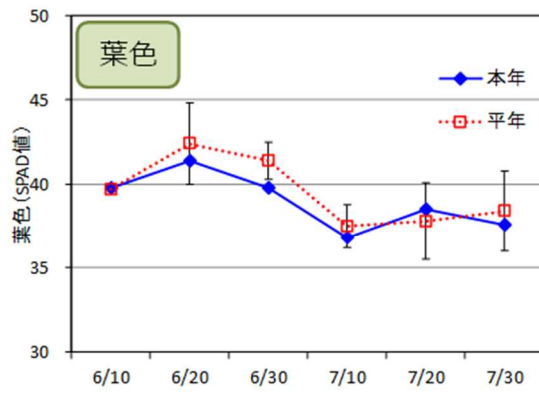
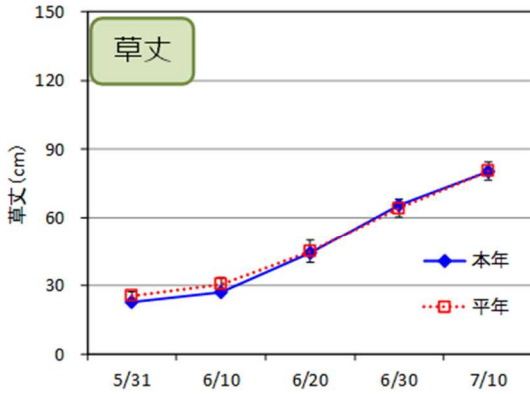
みずかがみ

播種:4月19日、移植:5月10日、栽植密度:18.5株/m²、植付本数:3本/株



コシヒカリ

播種:4月19日、移植:5月10日、栽植密度:18.5株/m²、植付本数:3本/株



注)平年は過去10年(H26年~R5年)の平均値。

きらみずき

播種: 4月19日、移植: 5月10日、栽植密度: 18.5株/m²、植付本数: 3本/株

